

市議会決算委員会

16日から始まる

住民サービス切捨て
駅前再開発予算が増加

市議会決算審査特別

委員会が、十六日から十九日までの予定でおこなわれます(中林・中谷議員が委員)。

○五年度決算は普通会計で五八七六万円(黒字)となりました(一般会計は一億二〇二五万円の赤字)。

同時に国民健康保険特別会計が約三十七億円の累積赤字となり、水道事業会計を除く、全会計では、約三十八億円の累積赤字となった。

会計区分	平成17年度			
	決算額 収入(A)	支出(B)	差引 (A)-(B) (C)	実質収支 (C)-(D) (D)
一般会計	71,237,350	71,349,399	△111,959	8,294 △132,253
国民健康保険特別会計	22,486,797	26,279,625	△3,792,828	0 △3,792,828
公共用地取得事業特別会計				
公共下水道事業特別会計	7,924,643	8,130,814	△206,171	0 △206,171
駅前地区再開発事業特別会計	108,686	108,686	0	0 0
公園緑地事業特別会計	314,117	133,049	181,077	0 181,077
老人保健医療特別会計	16,305,227	16,303,481	61,746	0 61,746
介護保険特別会計	8,934,009	8,933,323	686	0 686
交通支費・水災共済特別会計				
合計	127,379,733	131,229,272	△3,849,539	8,294 △3,868,833

寝屋川民報
議会版発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線2399)
FAX No. 824-7760
Email: jccncc@ccnet.or.jp
No. 1967田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714
寺本 とも子
豊里町35-1-105
☎829-9424中林 かずえ
宝町4-33
☎839-2289
中谷 光夫
高宮2-19-5
☎823-5947松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

ています。

○五年度は基本健康
診査や身体障害者手帳
診断料・家族介護用品
支給事業の有料化、市
民会館使用料の値上
げ、あかつき・ひばり
園職員の削減などが実施されました。
また市立あやめ保育
所の問題では、事業者
が撤退するという異例
の事態になったにもか
かわらず、保護者のこ
えを無視して民営化が
強行されました。市民の意見を聞かず
廃プラ施設建設へその一方、寝屋川市
駅東地区、香里園駅東
地区再開発事業、第二
京阪道路関連事業で、
約二十六億円の支出が
され、この分の増加が
大きな特徴となってい
ます。員の配置がされまし
た。また昨年四月から
は、池の里小学校・明
徳小学校の廃校すすめ
られました。四市廃プラ処理施設
については、専門委員
会がまとまった形で安
全宣言ができず、「な
お慎重に検討すべき」
という意見が複数出さ
れたにもかかわらず、
行政は建設に向けてと
りくみをすすめました。教育分野では、昨年
二月の中央小学校事件
を受けて、学校に警備

法律相談

とき:10月19日(木)夜6時半~

ところ:市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議団まで

寝屋川市内では、高層マンシヨンの建設があいついでいます。香里園では三十七階建てマンションが建設中、ほかにも工場跡地や大型商業施設跡地など建設計画がづきまです▼マンション建設によって、人口減少や少子化に歯どめがかかるか。人口減少時代を迎えつつある中、各自自治体で競いつて開発しても、成功するの疑問です▼寝屋川市は、市駅東、香里園駅東地区の二つの再開発事業を優先事業として進めています。香里園の再開発では高さ一〇〇メートル級のマンション計画入っています▼いまとめられているのは人口減少時代にふさわしいまちづくりシステムへの転換です。現在の都市再開発は人口増加を前提にすすめられてきたものであり、人口減少時代に事業が成功する保障はありません。大規模開発は土地や床の過剰供給を招き、破綻する可能性が高くなります▼人口が減少し空き地や空き家が増えていくとき、地域の実情に応じて段階的に、既存のストックを活用する修復型のまちづくりが必要になっていきます。

憲法9条守れ 草の根の運動を

「ねやがわ九条のつどい」に参加を

十一月五日、「ねやがわ九条のつどい」が開催されます。

市内では十四の地域、職場などで九条の会が結成され、二つの準備会が活動しており、十月二十九日には香里地域で九条の会が結成される予定です。

寝屋川団地・三井団地九条の会が二十二日に、第二回平和のつどいを開催するのは

め、東「九条の会」でも二回目の平和のつどいの準備がすすめられています。

今回のつどいは、各九条の会の活動をふまえて、寝屋川市全体のとりにくみを飛躍させようとするものです。

安倍内閣は歴代の自民党内閣のもとで、初めて改憲をはっきりかけました。

憲法九条を守り、九条を日本の政治と外交の基本にすえることがもとめられています。

の根の運動を強め、「寝屋川九条のつどい」を大きく成功させましょう。

尚、参加協力券は五百円です。党議員団でも取扱っていますので、お気軽にお申し出ください。

国がしっかり責任を果たすべき 国保の府県単位への一本化のうき

九月市議会では国民健康保険特別会計予算で、保険財政共同安定

化事業に係る経費が計上されました。

これは、レセプト一件あたり三十万円をこえる医療費について、府県単位で市町村の共同事業にするもので、国民健康保険制度を都道府県単位に一本化す

ることが、ねらいと位置づけられています。

しかし、国保料が高すぎて払えないこと、国保財政が困難であることなど、現在の国民健康保険がかかえている

問題が、制度を府県単位にすれば解決できるものでありません。むしろ、国の責任を問わなければならない

せん。国は七千億円も府県に負担転嫁をおこない、府県単位で市町村に医療費削減競争をさせようとしています。

国の責任や役割を發揮すべきであり、その負担を転嫁し、府県に制度の一本化をすすめることには大きな問題があります。

ねやがわ 九条のつどい

とき:11月5日(日)午後2時～

ところ:寝屋川市民会館大ホール

講演・小森陽一さん

(東京大学大学院総合文化研究科教授)
(「九条の会」事務局長)

主催:市内各九条の会



府政を変えるため全力 太田くみ子府政対策委員長

小泉政権の五年半に国民のくらしが破壊され、この政治の流れは安部政権に変わっても同じです。

大阪府議会の傍聴に行ってきましたが、府民の実態を、声を届け

る日本共産党の黒田府議や堀田府議の質問に、対し知事の答弁は府民に背を向けるものでした。

ムダな公共事業はさらに推進し、同和には手をつけず、福祉や教

育、中小企業への融資をさらに削り、国の悪政に悲鳴をあげている府民の暮らしに追い打ちをかけるのです。

赤字や借金を増やした府政こそ変えなければなりません。



太田 とおる

草の根からの活動から、国政に対する働きかけの必要性と、日本共産党の存在の大きさを感ずることができました。

これからも、草の根のさまざまな運動にかかわっていきたくと思っています。

府政予算要望に太田くみ子府政対策委員長とともに、国会まで行って来ました。

私は特に環境省との話し合いの場で、寝屋川市での廃プラ施設の健康被害の実態を知らせ環境調査を要望してきました。